授業科目名・形態	リハビリテーション看護学　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	渡邉知子	実務経験の有無	有	開講期	４年前期
科目ナンバリング	N7－4003				

【授業の主題】

リハビリテーションの基本を確認し、臨地実習で経験した看護実践の発展的学習を行なう。疾患や維持期における生活の再構築に必要な看護援助、社会資源など多様な視点から生活者と介護者へのリハビリテーション看護を学ぶ。

【到達目標】

1）生活の再構築とリハビリテーション治療に必要な看護援助方法を説明することができる。
2）健康障害で生じた生活障害を軽減するための知識と技術による看護援助を説明することができる。

【授業計画・内容】

第１回　リハビリテーションと運動機能障害患者に対するリハビリテーション看護
第２回　高次脳機能障害患者に対するリハビリテーション看護
第３回　高齢者施設のリハビリテーションと介護保険
第４回　摂食・嚥下障害のある患者のリハビリテーション看護
第５回　がん患者のリハビリテーション看護と補完・代替療法
第６回　回復期リハビリテーション病棟での看護：　事例検討と演習
第７回　回復期リハビリテーション病棟での看護：　事例検討と演習
第８回　プレゼンテーションとまとめ

【授業実施方法】

授業は講義と演習、プレゼンテーションで構成します。グループディスカッションとリアクションペーパー等で他学生と異なる考えや価値観の共有を行った上で学びの振り返りを行います。第６回～第８回は事例検討（課題）の看護援助のグループで検討後、実演（プレゼンテーション）を行い、リハビリテーション看護に対する学びを深めます。

【事前・事後学習】

授業ごとに指示しますので、事前に既習科目での学習内容や関係資料を確認し参加してください。講義内容に関する自主学習（事前学習・復習）を計４時間以上行ってください。

【主な関連する科目】

成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、緩和ケア論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、地域・在宅看護論Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】

系統看護学講座　別巻　リハビリテーション看護　医学書院

【参考文献】

奥宮暁子他：ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑤　リハビリテーション看護　メディカ出版　2022
酒井郁子他：リハビリテーション看護　改定第３版　南江堂　2021　他講義中にも紹介します。

【成績評価方法】

レポート（60%）、演習（30%）、授業態度等（10%）により総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

これまで、脳血管障害患者のリハビリテーション病棟に勤務し、失語症者の自助グループの支援に取り組んだ。また、卒業研究指導では回復期リハビリテーション病棟の看護師の失語症者とのコミュニケーションスキルの調査を行い、自身でも回復期リハビリテーション病棟の患者と家族の主観的 QOL 調査などを行っている。

【学生へのメッセージ】

自宅や施設での暮らす人とその介護者への支援を考えるため、これまでの学修や実習での経験の知識と技術を整理し、リハビリテーション看護援助の意義と重要性を再確認するための機会としてください。